



循 第06290003号
平成30年7月30日

和歌山市長 様

和歌山県環境生活部長



循環型社会形成推進地域計画目標達成状況報告書及び改善計画書に
係る知事の所見について

平成30年6月29日付け和一廃第133号で提出があった標記について、別紙のとおり知事の所見を付し、環境大臣あて報告しましたので、循環型社会形成推進交付金交付取扱要領15の(1)のエ及び(2)のイの規定に基づき通知します。

【担当】

循環型社会推進課 地域環境推進班
仮谷

TEL 073-441-2675

FAX 073-441-2685

e-mail kariya_z0004@pref.wakayama.lg.jp

知事の所見

『循環型社会形成推進地域計画目標達成状況報告書』

【ごみ処理】

排出量において、家庭系総排出量が目標を下回ったものの事業系総排出量が目標を上回ったことにより目標が達成され、取組の一定の成果が認められる。

一方で、再生利用量において、直接資源化量・総資源化量ともに目標に達しておらず、家庭系総排出量とともに更なるごみの減量や再資源化率の向上が求められる。

次期循環型社会形成推進地域計画において目標値を達成できるようさらなる循環型社会の形成推進に努めてください。

【生活排水処理】

公共下水道における汚水衛生処理人口及び集落排水施設等については目標を達成しているが、それ以外の指標については目標を達成できていない。

今後も引き続き循環型社会形成推進交付金を活用し、効果的な施策を実施し未処理人口の減少に取り組んでください。

『循環型社会形成推進地域計画改善計画書』

【ごみ処理】

排出量抑制のためのごみ有料化については、事業系ごみが処理料を値上げすることとともに、他の抑制の施策を実施した結果40%以上減少させている。

一方家庭系については、処理料の有料化に慎重な姿勢をとっているが、事業系が顕著な実績を上げていることから、家庭系についても様々な抑制施策と併せて積極的に有料化の検討を行ってください。

【生活排水処理】

今後も、ホームページや広報誌等を通じた啓発活動を強化するとともに、循環型社会形成推進交付金を活用しながら合併処理浄化槽の更なる普及促進に努めてください。

以上の項目を踏まえ、改善計画書で定めた方策を確実に実行し、次期循環型社会形成推進地域計画において目標を達成できるよう一層の努力をお願いします。